平成29年度
町政懇談会開催報告②

町内12か所の会場で開かれた町政懇談会で、会場の皆さんからたくさんのご質問やご意見があり、先月の広報では、その中でも特に質問が多かった「国保診療所」と「光回線」についてご紹介しました。

今月は、各地区で出されました主なご質問・ご意見についてご紹介します。

緑丘生活センター（緑丘・古岸地区）

『携帯電話の不感地域解消と光回線』

意見　携帯電話が通じない状況ですが、携帯電話のお店などに行くと、その状況にとても驚かれます。携帯電話が通じないことが、既に日本では無いという感覚なんだと思います。

携帯電話の不感地域解消に光回線が必要なのであれば、ぜひ、光回線を整備していただき、携帯電話の問題も併せて解消して欲しい。

回答　現在、道道新冠平取線は、メロディー号や通勤通学便が運行しており、また、国道が不通の際のう回路となるなど主要道路として利用されていることから、この地区で万が一、事故が起きた時の通信手段の確保という点でも光回線を整備し、併せて、携帯電話の不感地域を解消できるよう国に働きかけをしていきたい。

太陽開拓婦人ホーム（太陽・美宇地区）

『国有林の適正な管理について』

意見　平成15年災害後、河川は護岸整備が行われたが、国有林は整備されずそのままの状態である。

この様な中、平成28年夏の災害で、再び美宇地区でも被害がありました。「治山治水」という考え方からも、国有林の整備を進めて欲しい。

回答　先日、国有林を管理する日高南部森林管理署の署長と話しをした際に、同様の要望を行いました。

国有林の整備は、今後の森林管理署の対応を見極めながら、必要に応じて、協議や要望を行っていきたい。

『比宇川のスリット式ダムについて』

意見　平成15年災害以降、道が管理する比宇川の砂防ダムはスリット式になっているが、雨が降るたびに砂利が流れ出て、農家の取水ポンプも使え無くなる状況が続いている。土砂を完全に止めることはできないのだろうか。

回答　砂防ダムは、スリット式にする前は、土砂を全部止める方法をとっていましたが、この方法だと、平成15年災害時のように、大雨によって大災害につながると考えられるようになり、現在は、新しくスリット式を採用しているという経緯があります。

町としては、定期的に現地を確認するとともに、必要に応じて、土砂や流木の撤去など河川の適正な管理を国や道に要請していきます。

現在の比宇川上流の様子
（流木が撤去された状況）

本町多目的交流センター（本町・中央町地区）

『粗大ごみなどの不法投棄について』

質問　海岸沿いやJR鉄橋下などには、テレビや冷蔵庫、粗大ごみなど、不法投棄されたものがあります。

自分たちで拾うことも考えますが、物も大きく、収集後の処分のこともあり、どうすればよいか困っている状況です。

町でトラックなどを出してもらえるのであれば、こちらも協力したいと思いますが対応は可能ですか？

回答　不法投棄やゴミについては、町民生活課で現地を確認し、どのように対応していくのが良いか検討させてください。

※町政懇談会終了後、担当課で現地調査を行い状況を確認しました。

町内で粗大ごみや家電製品などの不法投棄を発見された場合は、役場町民生活課までご連絡ください。

『空家の把握について』

意見　本町地区には空家が多く、中には住め無い状況のものや家主が分らないもの、猫やハトの繁殖場所になっている空家などもありますが、調査などは行っているのでしょうか？

また、全て町にというわけにもいかないと思いますが、お互い協力しながら、ぜひ、環境改善に努めていただきたいと思います。

回答　一昨年前から、町内全域を対象に空家調査を行っており、現在、情報の集約作業をしていますが、ここには「住める環境にない」、「持ち主が亡くなった」、「取り壊しの費用が無い」などの情報がまとめられています。

町では、これらの情報の集約をするとともに、住宅の状況に応じて環境整備を目的とした空家の取り壊しなどに係る補助制度の整備も検討しているところです。

共栄生活館（共栄・東川地区）

『各種事業の無償化について』

意見　色々なものを無償化するという話しが上がっていますが、全ては税金で賄うことになるわけです。

自分のためにする健康診断を無償化するという考え方はどうなのか。

回答　ご意見は色々あると思いますが、今でも健康診断の受診率が上がらないことで病気の発見が遅くなることが多々あり、この発見の遅れが生活習慣病から、心疾患などの重症化を引き起こし、医療費の増大を招いています。

このことから、受診率をあげ、早期発見・早期治療を進めることで、結果として、町の医療費の削減につながるという信念をもっているのでご理解いただきたい。

万世生活館（万世・明和・大富地区）

『小学校の統合について』

質問　朝日小学校の児童数が減少しているが、小学校の統合の有無について検討しているか教えて欲しい。

回答　統合について、町として現在検討が具体化しているものはありません。

朝日小学校は、引き続き、次年度も複式学級の解消に向け取り組んでいく予定です。

児童数は、統合当時は約90名程度で、今年度は53名、次年度は46名の見込みと半減している状況ですが、町としては6学級を維持していくことを考えています。

今後については、新冠中学校が昭和49年建設と一番古いことから、中学校、新冠小学校の改築についても、10年先を見越して検討を始めなければいけないと考えており、小中学校の連携体制の確立に加え、学校の建設場所や運営形態など、ＰＴＡや地域の皆さんのご意見を聞きながら、町の方針に組み込んでいきたいと考えています。

昭和57年に完成した
朝日小学校校舎と体育館

『婚活事業について』

質問　婚活事業は毎年実施しているのか、また、苫小牧信用金庫との事業連携とはどのようなものなのか？

回答　平成27年に農業後継者を対象に、また、28年に漁業・商工も含めた産業後継者に枠を広げパーティー形式で婚活事業を開いてきました。

その様な中、苫小牧信用金庫で結婚支援事業という形で結婚相談所の機能を持ち、専属スタッフも配置して事業を行っていることがわかり、先日、事業連携の協定を締結しました。

このお見合い事業は、男女問わず登録可能で、会員になると苫小牧信用金庫本店で会員のプロフィールを閲覧することができ、また、マッチングサービスを受けることもできます。

町としては、町内の多くの男女に登録いただき、1組でも多くのカップル誕生に繋がればと期待しているところです。

泉生活館（泉・岩清水・若園・新栄地区）

『災害発生時の避難について』

質問　泉自治会の一次避難所は、新栄開拓婦人ホームですが、平成28年8月のような大雨が降るとゲートが閉鎖され避難できなくなります。

避難所の見直しを含めた検討が必要かと考えますがいかがでしょうか。

回答　ご意見のとおり、道道は降雨量が100㎜を超えるとゲートが閉まり、新栄地区への避難は無理な状況となります。

避難先について再度検討しましたが、泉地区の高台には町有地が無く、避難場所の確保が難しいことから、一次避難所までの避難ができない場合は、各自で高台に一時的に避難していただくしかない状況です。

今後、地域の皆さんの同意をもらえるような場所があれば、再度検討していきたいと思います。

また、現在、防災マップも含めた防災対策の見直しを検討しており、地域の方々の意見も聞きながら進めたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

『高齢者の住環境の整備について』

意見　山間部では一人暮らしの高齢者が増加していますが、運転免許の更新もハードルがあがるなど、生活を続けるのが難しい状況が見受けられる。

以前であれば、家や土地を売り市街地に住み替えることもできましたが、現状は難しい状況にあります。

このような中、あいあい荘のように、ある程度自立して生活できる人の施設が増えれば、高齢者が安心して移住できる場所が確保されるので、もう少し住み慣れた山間部で生活を頑張ろうと思えるのではないかと考えます。この様な状況を見据えた上での住宅対策をお願いします。

回答　あいあい荘の入所要件は「おおむね65歳以上の1人暮らしの方で、独立して生活することに不安がある方」となっており、15部屋あります。

基本的には、一人で元気に生活できる人が対象の施設なので、要介護2以上になると退所しなければなりませんが、持ち家があっても入所でき、所得制限もありません。

平成28年8月に発生した
災害で被害を受けた町道